

日本語キャンプ *en México*

こんにちは。2月になり、メキシコシティでは年末の寒さがようやく過ぎ去ったと思えば、最近の日中はとても気温が高く、夏かと言わんばかりの暑さを感じています。さて今回のレポートでは、2月16日に国際交流基金メキシコ文化センター主催のもと行われた“日本語キャンプ”に参加してきたので、それについて書いていこうと思います。

2月16日、日墨協会において行われたこの日本語キャンプには、メキシコシティで日本語を学んでいる小学生から高校生までの約20人の子供たちが参加しました。子供たちは2人もしくは3人のグループに分かれ、それぞれのグループには日本人アシスタントが2人入りました。私のグループは小学五年生、小学六年生、中学三年生の3人でした。子供たちの日本語のレベルはとても様々で、また、私たち日本人のスペイン語のレベルにも人によってばらつきがあり、

子供たちとコミュニケーションをとるには少し苦勞する部分もありました。しかし自己紹介をした時に子どもたちが、自分たちの使える精一杯の日本語を駆使して話してくれたのがとても嬉しく感じました。

一日のスケジュールとしては、①開会式、②団子作り・茶道体験、③グループごとに別れて昼食、④オリエンテーリング、⑤閉会式 というものでした。

団子作りではみんなで白玉を作りました。メキシコであまり目にすることのないきな粉は子どもたちに不人気でしたが、逆に、みたらしには醤油が使われていることを伝えると、みたらしをつけて食べる子が多かったように思います。



白玉を作ったことがない子が大半でした。日本語を話すだけでは作り方がうまく説明できないので、実際にやって見せると、コツを掴んで上手に作っていました。タレは、みたらし、こしあん、きな粉の三種類です。

また、日墨協会の中にはなんと茶室があり、子どもたちはそこで茶道体験を学びました。日本にいてもなかなか経験できるものではないので、羨ましく感じました。正座に慣れておらず、足が痺れて動けない子もいました。



お茶菓子をいただいてから、
抹茶をいただきます。

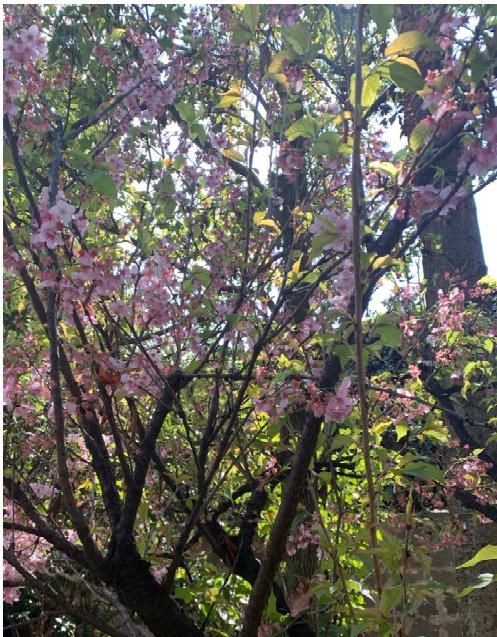
20分間という短い時間でしたが、「和敬清寂」という言葉の意味を学ぶことができました。

昼食を食べたら、オリエンテーリングです。日墨協会の敷地内にあるポイントをグループで順番に回って、課題をクリアしてゴールします。課題の内容は日本語に関する問題で、ひらがなやカタカナの単語を読んだり日本語でクイズに答えたりというものです。オリエンテーリングをやったことがない子ばかりで、最初はルールもわからないようでしたが、日本語を使いながら楽しんでいました。最後に上位3チームが発表され、第一位のチームは日本語の本を景品としてもらっていました。

今回の日本語キャンプでは、日本から遠く離れたメキシコの地で日本語を学ぶ多くの子どもたちに出会うことができました。それまでにメキシコで出会った日本語学習者は、ほとんどが大学生や社会人の方だったので、今回の経験は私にとって新鮮なものでした。また今回の出会いで印象的だったのが、同じ日本語を学んでいたとしても、学習者の状況によって上達レベルや意欲に大きな

差が生じる、ということです。例えば、(1) 社会人の方が日本語学習する場合は、自主的に学ぼうとして学んでいるケースがほとんどです。仕事のためであったり、趣味の一環としてであったりと理由は様々ですが、みんな意欲があり、必然的に授業中の質問も多くなってきます。次に(2) 大学生の第二言語として日本語を学んでいる場合、意欲やモチベーションは人によって違ってきます。日本に留学したい学生、日本の文化(歌川広重について研究している学生に出会ったときはなんだか嬉しかったです)、歌やアニメ、漫画などが好きな学生、言語学習が好きな学生と様々な理由がありますが、逆に、何かしらの第二言語を選択しなければならず、仕方なく学んでいるという生徒もいます。そして(3) 小学生・中学生が日本語を学ぶ場合です。この場合、本人たちが自ら希望して学習している場合は少なく、親の仕事などの事情で日本からメキシコにきた子や、親の希望で学んでいるケースが多いように感じました。日本人の親を持つ子もいれば、そうでない子もいます。日本語で話す機会の多さも子どもによって違っており、レベルも様々になってきます。先日見学に伺った、日本語教育を実施している小・中学校では、そういった子どもたちのための日本語教育の工夫が多くなされていて、義務で学ぶとは言っても楽しそうに日本語を学習し

ていました。私は、日本語だけに限らず言語教育・言語学習の最大のポイントは、「楽しむこと」だと思っているので、とても勉強になりました。メキシコでの子どものための日本語教育については、また別の機会にしっかり書けたらと思います。



日本語キャンプが行われた日墨協会にはなんと桜（flor de cerezo）が咲いていました。

メキシコにいる間は桜を見ることはできないと思っていたので感動しました。こちらの2月の気温は高く、最高27～28度くらいまで上がります。そのため2月でも桜を見ることが可能なのだそうです。

こちらで生活するのも5ヶ月を切っています。最近、以前よりも日本語教育の現場に携わる機会が増えてきました。残りの期間でしっかりとやりたいことをできるようにしっかり動いていきたいと思っています。